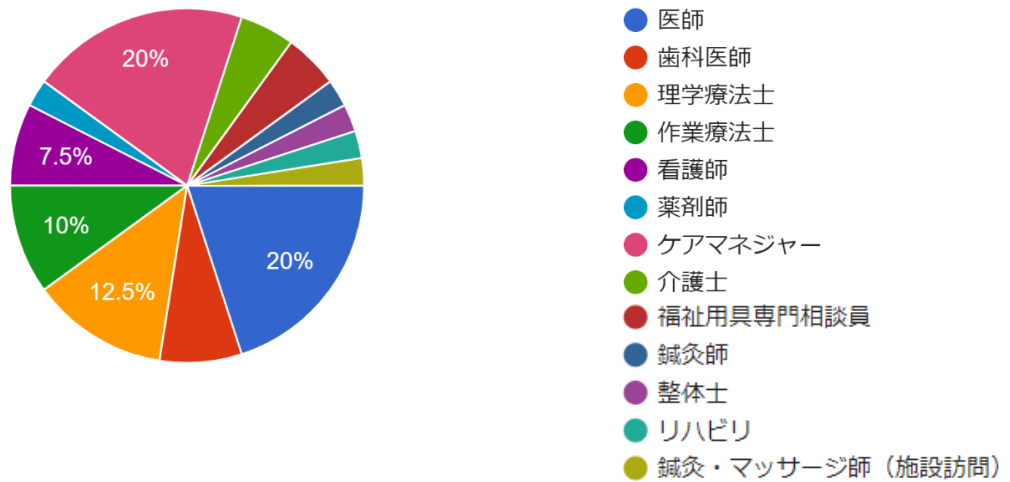


# 第1回地域医療介護連携セミナー 介護現場での「痛み」の対応を学ぶ -介護者の痛みの問題- アンケート集計結果

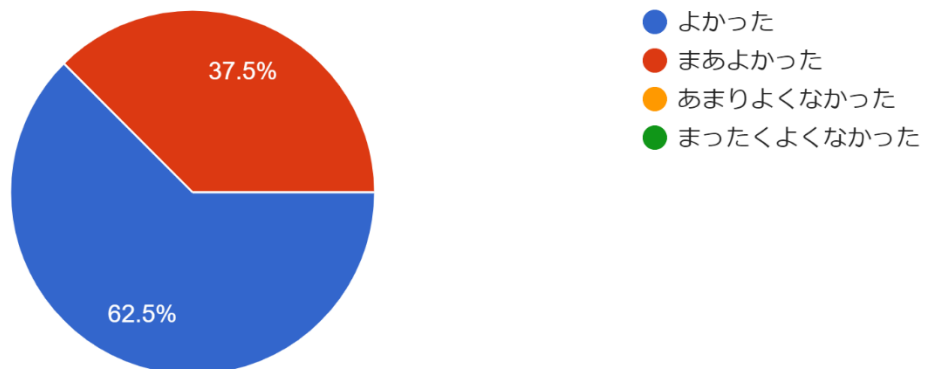
2022年11月26日(土) 16:00~18:40 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 77名 (オンライン 61名 現地参加 6名 登壇者 10名)

あなたの職種を教えてください。(兼任の場合は主な業種を1つ選択してください)  
40件の回答



今回のセミナーの感想をお聞かせください。  
40件の回答



感想や意見をお聞かせください。

- ・ 将来を意識した福祉用具を知る事や知識を勉強するのは大事だと感じました。
- ・ 腰痛対策でリフトが使えない場合がほとんどだと思います。
- ・ 介助者の痛みがノーリフトの取り組みで解決するような例が多くなるといいと思います。介助者の痛みが当事者の能力がよくなることで解決とはいかない、高齢者や進行していく場合も多くあると思います。福祉用具活用がもっと普及するように願っています。
- ・ コメディカルの考えが良く解った
- ・ 福祉機器の導入は使用者側の考え方、保険、外国との文化の違い、外国人との体つきの違いなどいろいろなハードルがあるなと思いました。
- ・ アウトソーシングの考え方で負担軽減できればと存じます。
- ・ 在宅でのリハビリのお話が学びになりました。現場で生かしていきたいと思います。
- ・ 業務により途中中座いたしましたが、介護現場における腰痛への取り組み、知識のアップデートが出来ました。
- ・ 各先生方からの気づきをいただきありがとうございます。介護現場特に、在宅においては軽度からベッドや車いす貸与は希望するも、余程重介護化しないと、「介護していない」とか「手を抜いている」などの思考がまだまだ強くあります。本日の内容を今一度学びなおし、支援を行いたいと思います。ありがとうございました。
- ・ 腰痛予防の取り組みについて聞いて良かったです。職場で福祉用具を出来るだけ活用できるよう努めていこうと思います。
- ・ 中谷裕也 PT の資料が見やすく、具体的なケーススタディで参考になりました。
- ・ 埴田先生のご講演は、ノーリフトケアの導入について、とても参考になるお話でした。ありがとうございました。
- ・ 痛みを感じてから対応も大事だが、制度や予防方法（技術）の視点が大切だと。ただ、自宅で介護する方に付いて、キッチンとご利用者さまの状態、生活環境を踏まえた市道は、本来ヘルパー等が担う筈だが、現状おいついてないと考えました。”
- ・ 腰痛予防におけるノーリフティング対策が医師や理学療法士による助言や、使用指示などもっといただけるシステム作りが必要だと思いました
- ・ 良かった
- ・ 同じリハビリ職の方が話をされて分かり易く、共感できることも多かったです。
- ・ 疼痛評価が非常に難しいことを感じた。同時に、多面的に評価する重要性を感じた。
- ・ 第一テーマしか視聴できませんでしたが、腰痛予防に対する取り組みの流れや根拠を知ることができ、非常に得るものが多かったです。
- ・ 介護者自身の痛みの予防、という事には意識が向いてなかったのが、新たな視点が持てました。

- ・ケアラーの負担（痛み）の軽減が、患者・利用者のケアに直結する。  
あらゆる福祉用具を活用する事、ケアラーの負担（精神的負担も考慮した）の客観的評価及び軽減を図る事にも考慮した機能訓練の重要性を感じた。”
- ・介護現場で身体の問題を抱えての離職される率が高い事  
ノーリフトケアを取り入れているところ、独自の取り組みをしてふたんを無くそうと努力していることを知りました。介護現場の現状をすることができました。  
ありがとうございました。”
- ・分かりやすかった。
- ・介護施設での腰痛予防について非常に進化した事例をお聞きできて参考になりました。
- ・個人の腰痛予防だけでなく、環境面からも出来そうな事がありました。

今後どんな企画を希望されますか。

- ・腰痛対策でどうしたら居宅でよいのかを知りたい
- ・病院(特に急性期)で福祉用具の使用を進めている事例があれば知りたいです
- ・痛みの対応 続編
- ・連携症例
- ・介護や地域医療に携わる方ほど、慢性痛を抱えている当事者であるというケースがあると思います。その方に向けた一般向けセミナー又は、施設向けセミナーがあったらよいと思いました。 そのセミナーは一般、ケアワーカー、医療者など隔てなく参加・聴講できると、お互いの気持ちや状況も見えやすい、交換出来るかと思います。
- ・病院と、整形医院、在宅訪問のセラピストの方々の連携や、情報ツールおよびなどの紹介や、またセラピスト同士でなく、多職種に向けた関わりと、利用者・患者・関係者に対する、それぞれの職場での得意や苦手などを細かく教えていただきたい。それが、痛みやケア方法、看護方法などなどにつながっていくのではないかと考えたので
- ・介護現場でためになるような企画を希望します。
- ・オランダ、オーストラリア、デンマークその他、慢性疼痛治療の先進国とされている国々の最新の取り組みや、具体的な患者へのアプローチについて
- ・上記の現場（自宅の生活環境）において、予防的に効果のある痛み予防を取り組み、良かったケース、悪かったケースの報告なども聞いてみたいと思いました。
- ・糖尿病改善へのリハビリや、ケアプランのアドバイスなど。
- ・病院での導入された事例などを聞きたいです
- ・ノーリフトを施設や病院などへ、導入から取り組みに至るまでの話などを聞いてみたいです。
- ・様々な症例報告が聴ければと思います。
- ・介護施設における体操や腰痛ベルトなどの個人の取り組み、福祉用具の活用以外での腰痛

予防の取り組み事例があれば伺いたいです。

- ・ BCP
- ・ 高知モデルをしりたい

このセミナーをどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

